

## ■ 共同研究班の概要 Summary of the Joint Research Group

班 Group Category	課題公募班（萌芽研究） Type A2 Groups (Publicly Offered Projects : for Exploratory Researchers)
設置期間 Period of Activity	2025年4月～2026年3月 April 2025 – March 2026
研究課題名 Research Topic	子どもの基地被害に関する歴史的研究－1950年代の多摩地域に着目して Historical Study on the Harmful Impact of Military Bases on Children – Focusing on the Tama Region in the 1950s
研究目的の概要 (400字程度) Summary of Objectives (Approx. 400 characters)	<p>本研究の目的は、子どもの基地被害と人びとの抵抗の実態にそくして、基地周辺地域の実態を明らかにすることである。研究対象とする1950年代の多摩地域では、軍機墜落事故や土地接收、軍事環境問題、経済構造や社会関係の変化などの多様な基地被害とともに、砂川闘争に代表される人びとの抵抗が生じた。</p> <p>歴史学において1950年代論の深化が重要課題となっている。特に基地周辺地域では占領状態の継続、経済復興、朝鮮戦争を背景とする兵站化が同時に展開しており、そこには1950年代における歴史状況の重層性が端的に示されている。その状況下で地域社会における抵抗の契機や基盤のひとつとなったのは、人びとが子どもを介して基地被害を再認識とともに、教育をめぐる社会関係を通じて対策を試行したことであった。</p> <p>本研究の意義は、教育史に立脚しながら、基地周辺の地域社会史や反基地運動史に関する研究、基地問題研究などの諸領域を架橋し、1950年代の複雑性をひととく点にある。</p>
研究会開催予定等 Planned Meetings, etc.	年2回 14:00-17:00 Twice / Year, 14:00-17:00

## ■ 班員名簿 Member List

最終更新日：2025年6月6日  
Last Update : June 6, 2025

Nº	班長・副班長 Coordinator / Deputy Coordinator(s)	氏名 Name	区分 Category	所属・職名 Affiliation / Position	専門分野 Field of specialization	共同研究における役割分担 (30字程度) Division of Roles within the Group (Approx. 30 characters)
1	班長	山口 刀也	私立大学	東北生活文化大学・専任講師	子ども史、教育史	基地周辺の地域社会史や反基地運動史・基地問題研究などの横断的研究
2	副班長	須永 哲思	所内	・准教授	近現代日本教育史	1950年代の地域社会における教育運動・民間教育運動の研究
3		奥村 旅人	学内(法人内)	教育学研究科・講師	生涯教育学	1950年代の地域社会における社会教育の研究